

2024年

高齢者施設 介護スタッフの 介護負担に関する 意識調査

排せつ介助の負担感

TOTO株式会社

1 調査概要

2 回答者属性

3 調査結果

3-1 介護負担について

3-2 排せつ介護の負担感について

4 まとめ

1 調査概要

調査目的 高齢者施設では、介護スタッフ不足で、介護負担がますます重くなっている。その中でも排せつ介助に負担を感じている介護スタッフの割合が高いため、排せつ介助で負担が大きいと感じている業務を明らかにし解決策を検討する。

対象者

- ・ 高齢者住宅・施設の介護スタッフ
- ・ 1年以上勤務
- ・ 18歳~69歳
- ・ 入居者の看護／介護（介助）を業務としている方
- ・ 排せつ介助を行っている方

対象施設 サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、住宅型有料老人ホーム、介護付有料老人ホーム、老人福祉施設（特養）、老人保健施設

回答者数 1066名

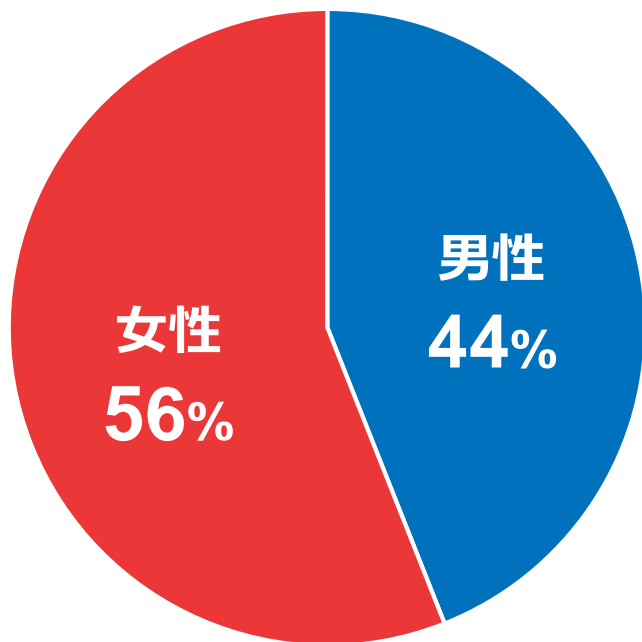
調査方法 インターネット調査

調査期間 2024年3月1日~3月4日

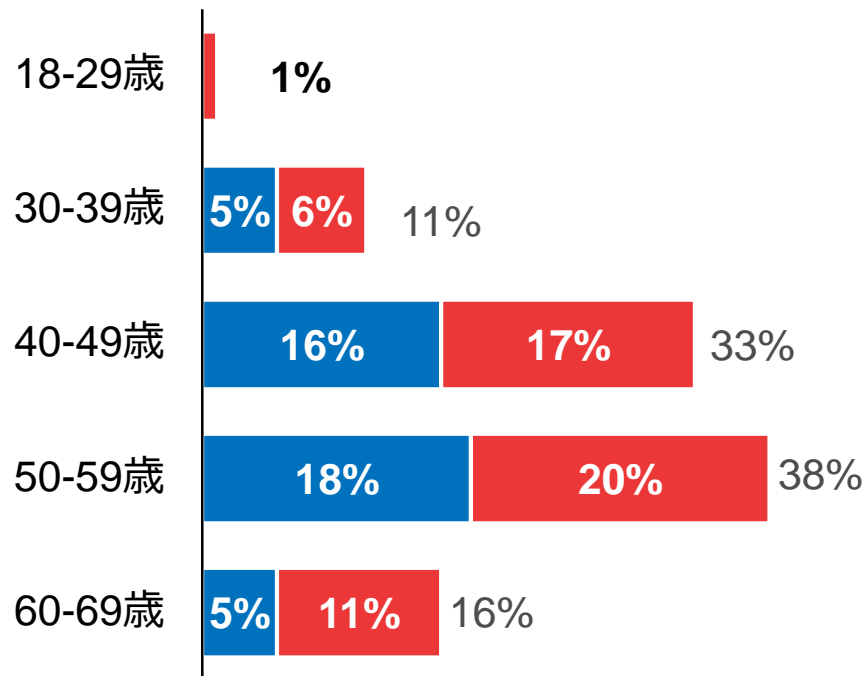
対象エリア 全国

2 回答者属性

性別



年代



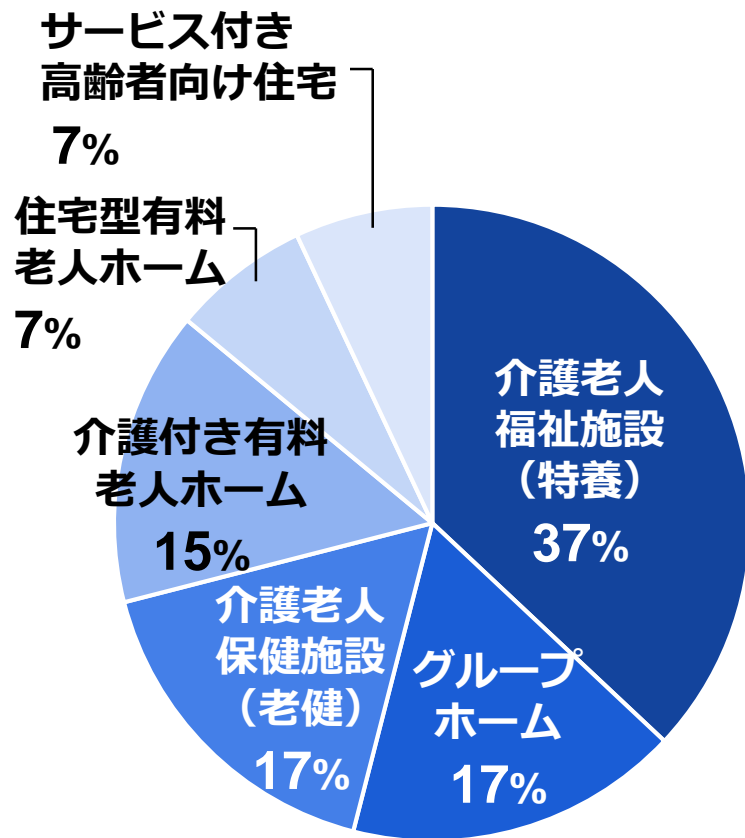
■ 男性

■ 女性

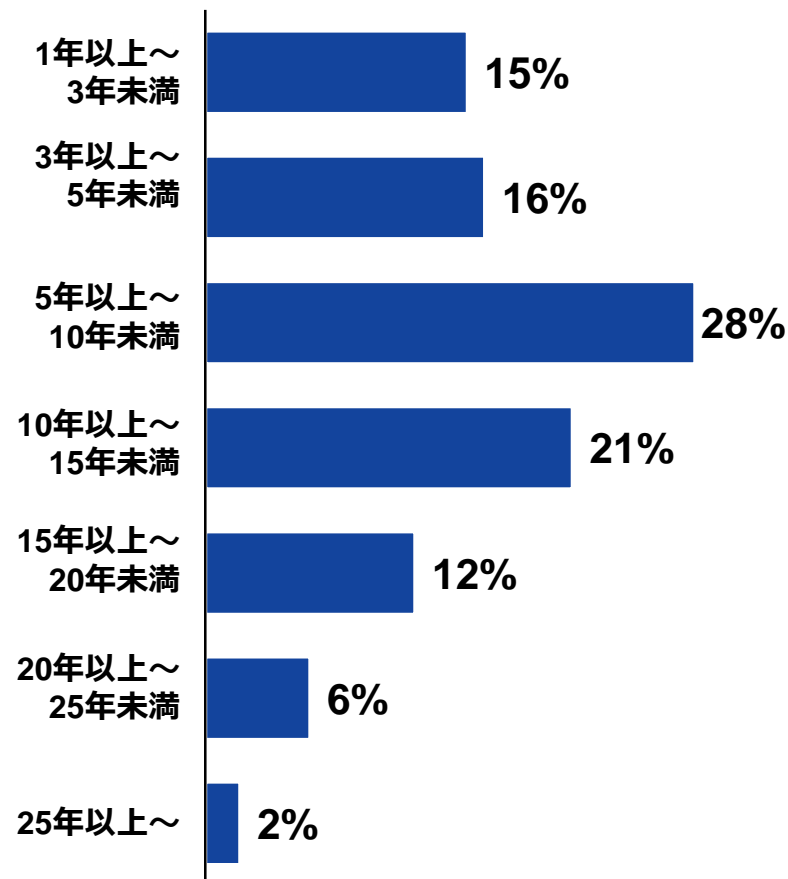
n=1066

2 回答者属性

勤務している場所



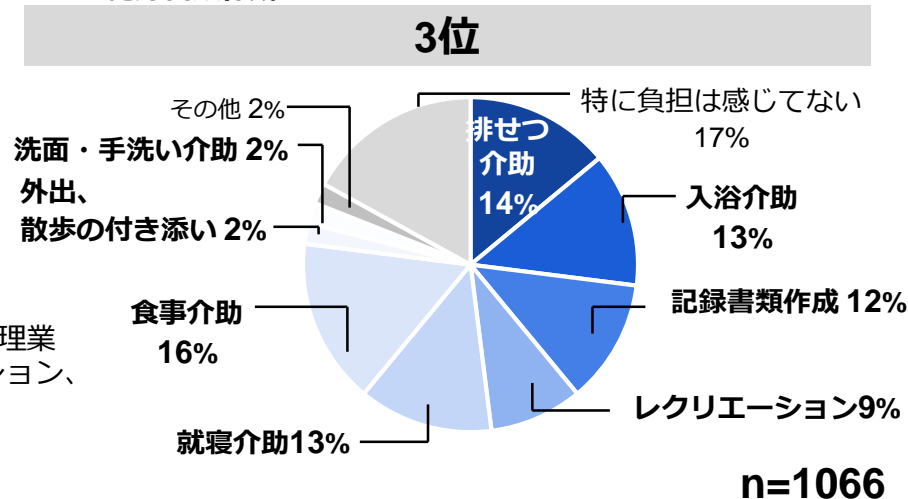
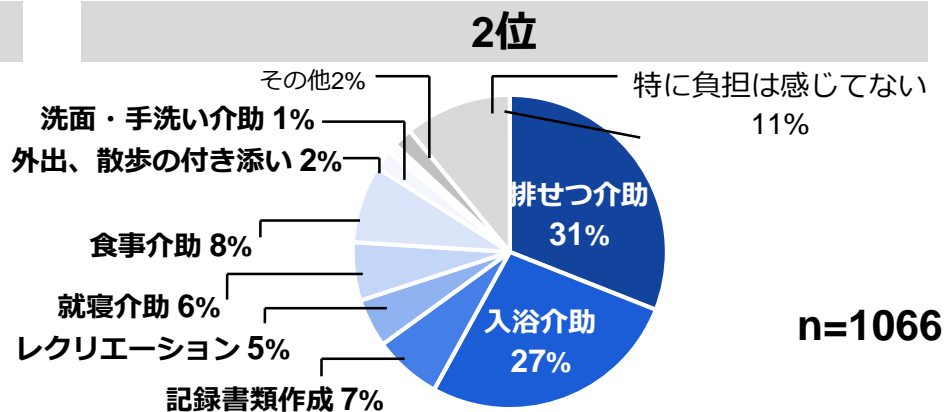
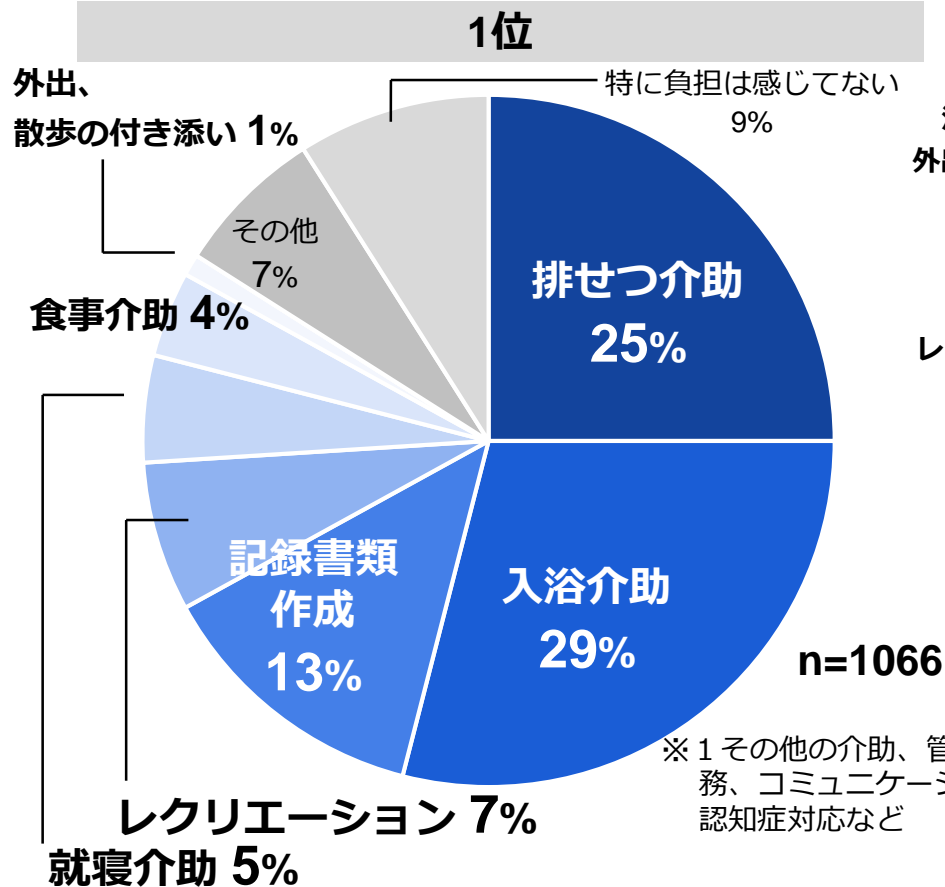
勤務年数



n=1066

排せつ介助、入浴介助、記録書類作成が上位に挙げられている

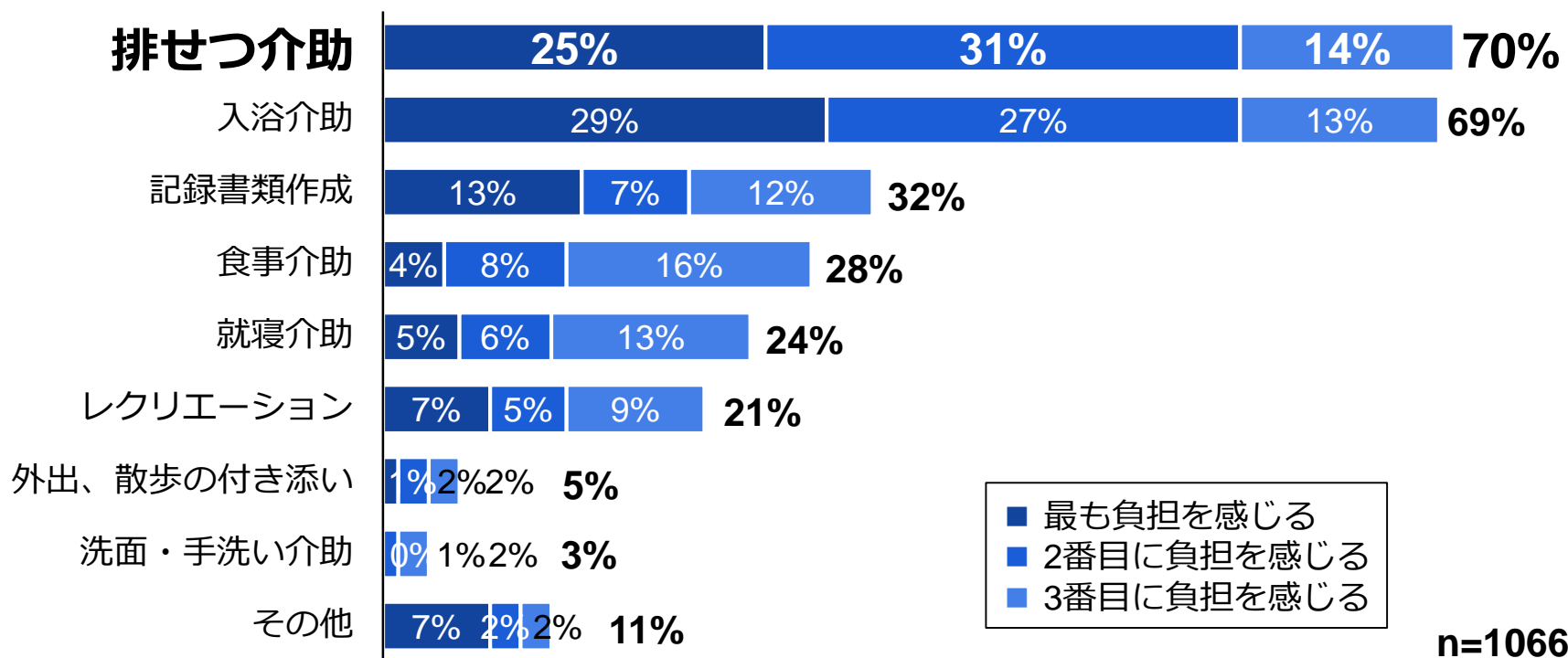
Q1 | 「負担が大きい」と感じている業務上位3つお選びください。



介護業務の中で「排せつ介助」に 70%のスタッフが負担を感じている

Q1 | 「負担が大きい」と感じている業務上位3つお選びください。

1位から3位を選択した人の割合の合計

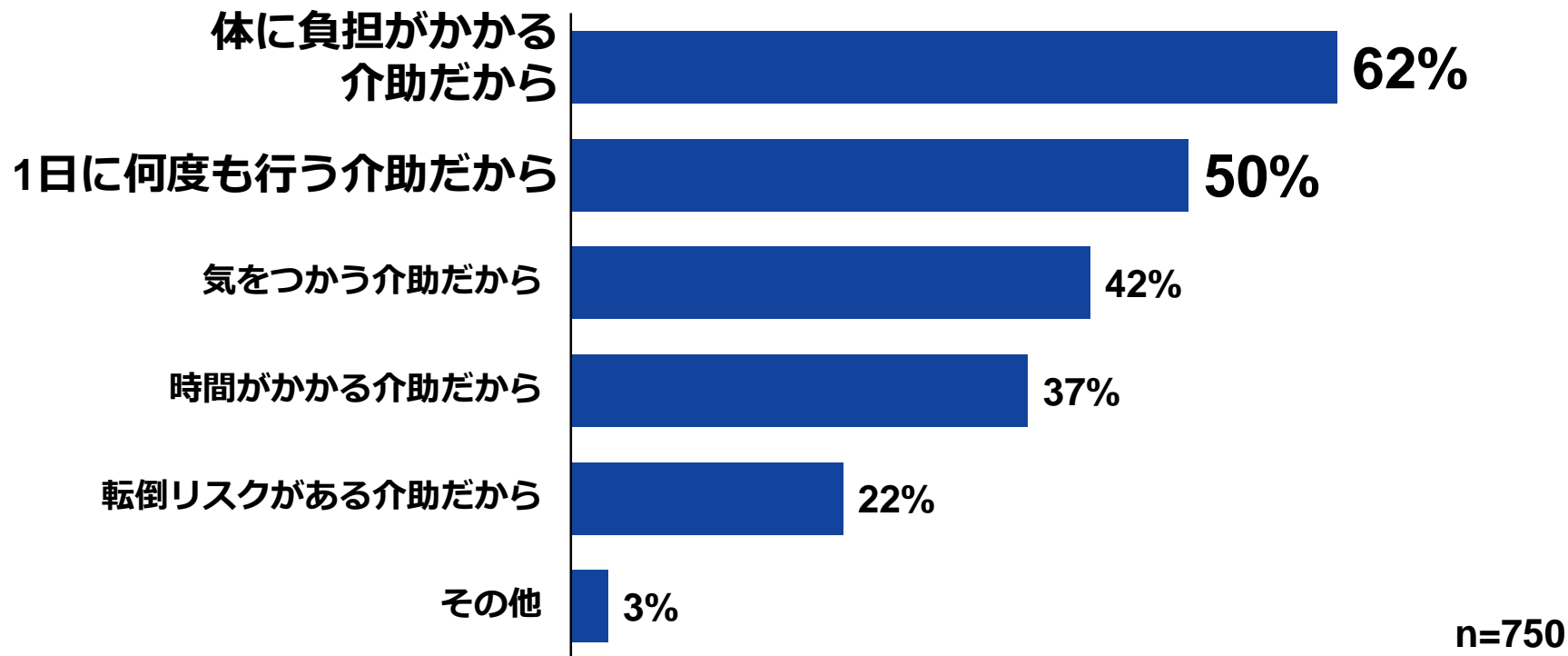


排せつ介助は体に負担がかかるから、
1日に何度も行うからという理由で負担に感じている

Q1で排せつ介助に負担を感じていると回答した人

(複数回答)

Q2 | なぜ負担が大きいと感じますか。



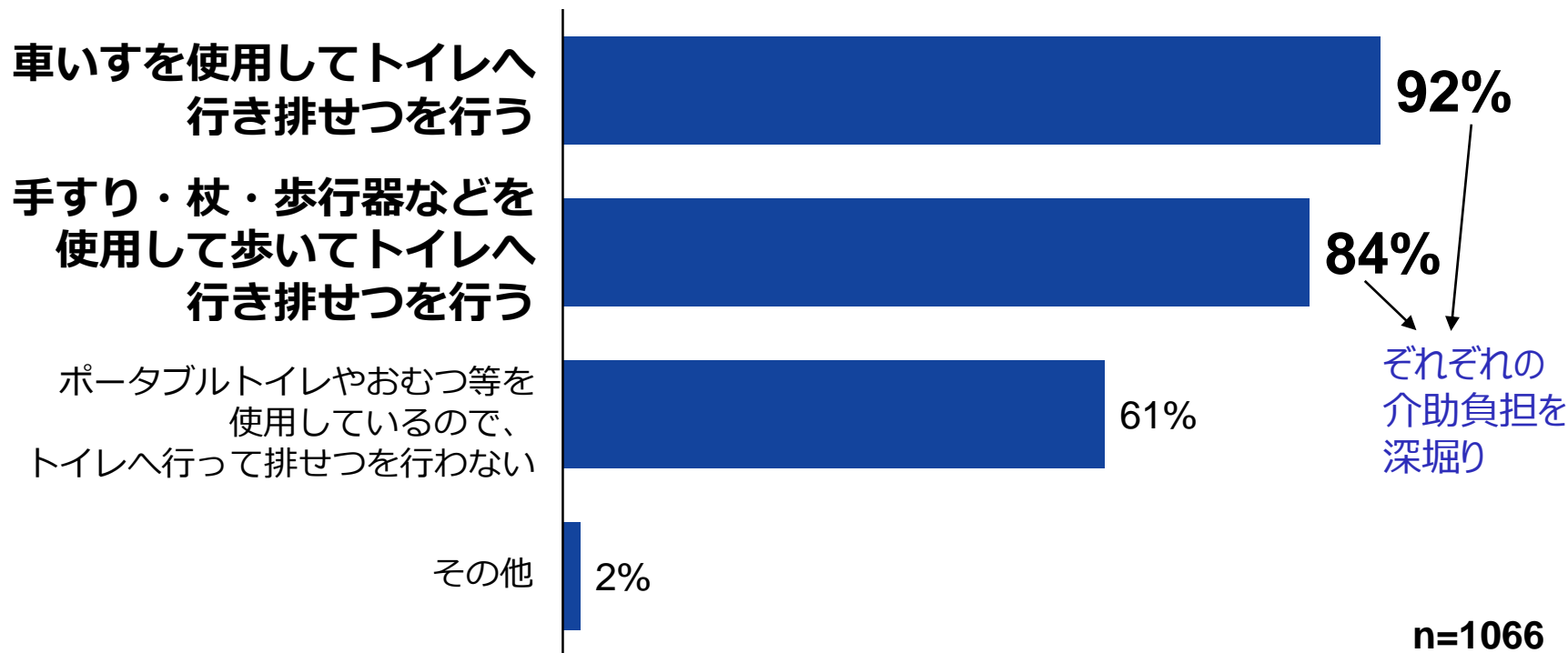
3-2 排せつ介護の負担感について

歩いてトイレへ行く方の排せつ介助、車いすでトイレへ行く方の排せつ介助をすると回答した人に介助での負担感を確認した

(複数回答)

Q3

排せつ介助で、あなたが担当している方の排せつの仕方について、あてはまるものをすべてお選びください。

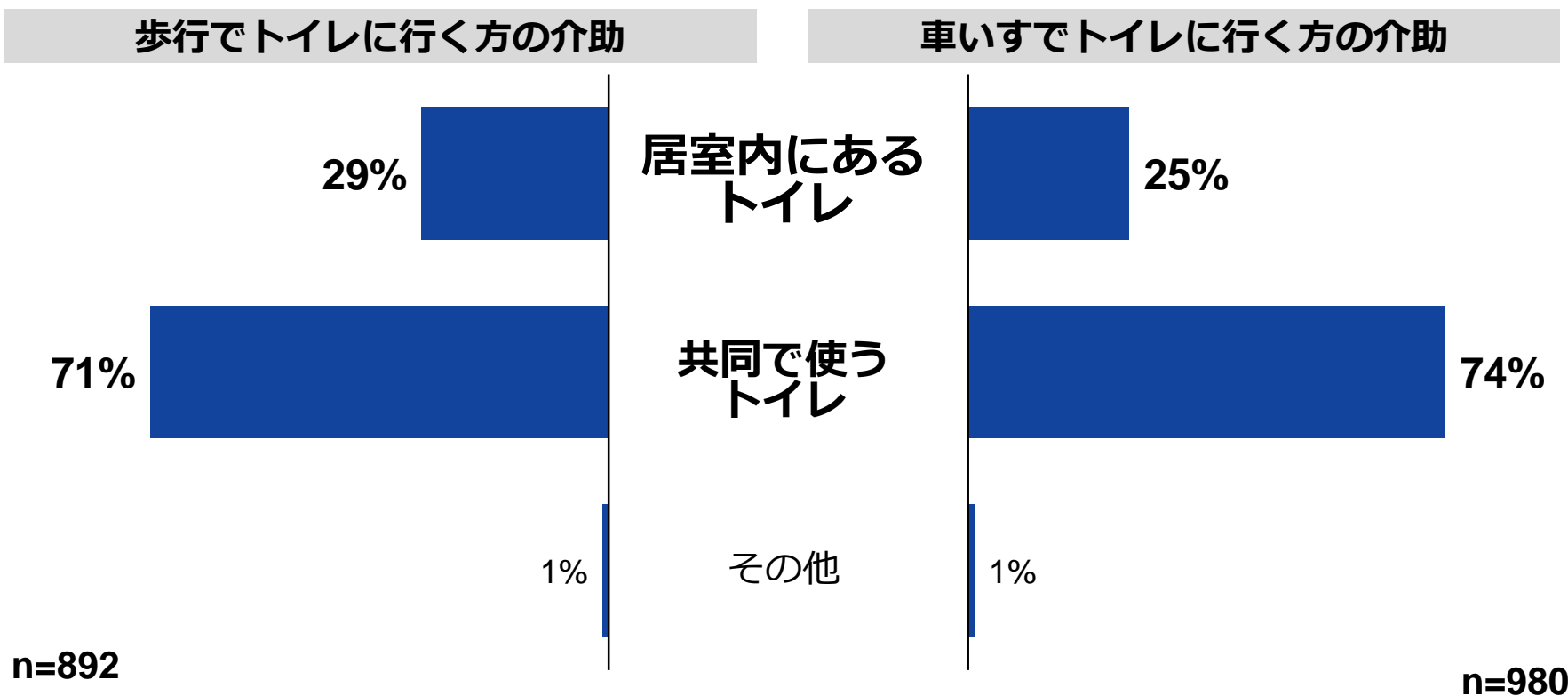


3-2 排せつ介護の負担感について

歩いてトイレへ行く方、車いすでトイレへ行く方が
使用するトイレはともに共同で使うトイレが多い

Q3で「歩いてトイレへ行く方の介助」「車いすを使用してトイレへ行く方の介助」と回答した人

Q4 | 排せつ介助の際、よく使うトイレはどちらですか。



3-2 排せつ介護の負担感について

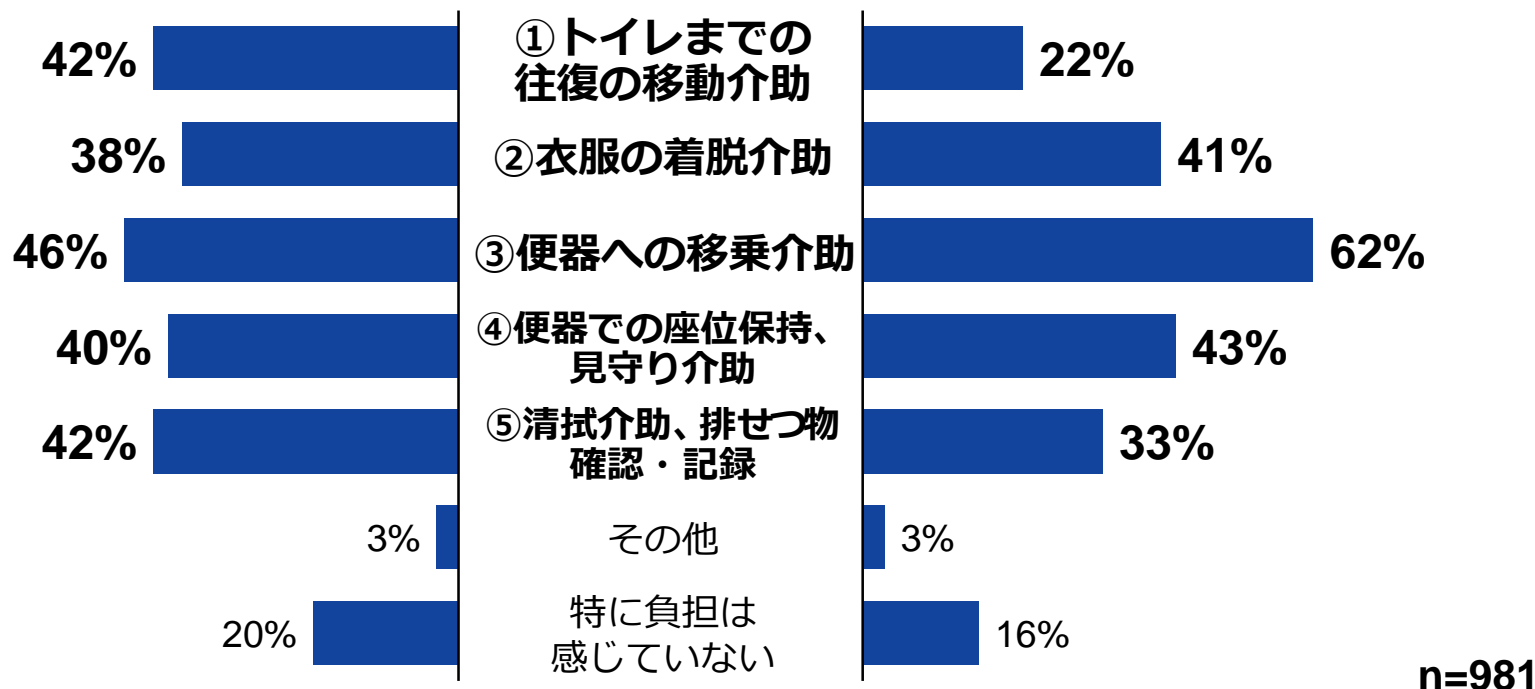
歩行でトイレに行く方の介助では、どの介助も負担と感じている
車いすでトイレに行く方の介助では、便器への移乗介助に負担を感じている

Q3で「歩いてトイレへ行く方の介助」「車いすを使用してトイレへ行く方の介助」と回答した人

Q5 | 排せつ介助で、あなたが負担に感じている介助はありますか。 (複数回答)

歩行でトイレに行く方の介助

車いすでトイレに行く方の介助



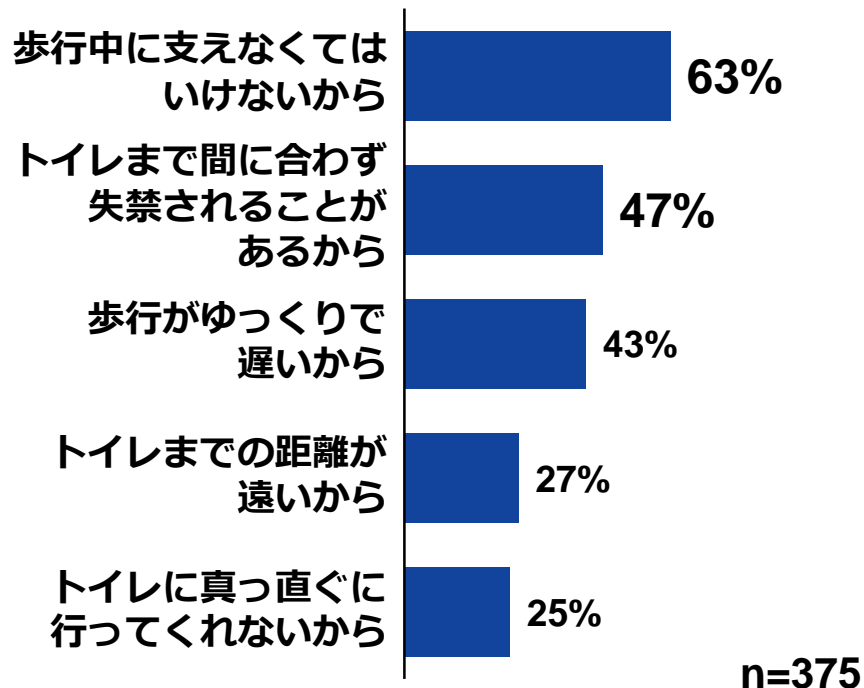
3-2 排せつ介護の負担感について

トイレまでの往復の移動介助の際、歩行中の支えや、 ベッド⇔車いすへの移乗に負担を感じている

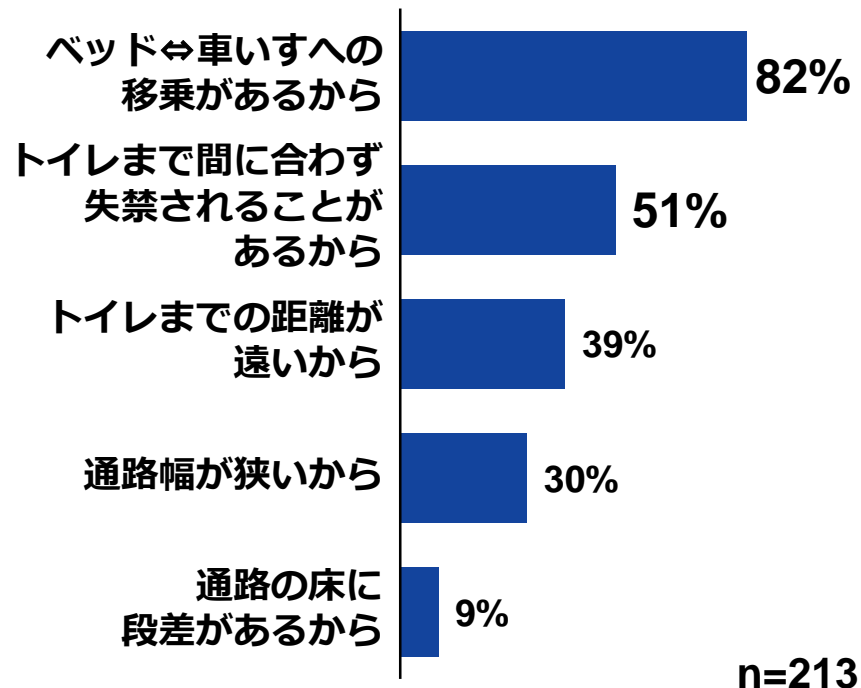
Q5で「①トイレまでの往復の移動介助」に負担を感じていると回答した人（複数回答・上位5位を抽出）

Q6 | どのようなことで負担を感じますか。

歩行でトイレに行く方の介助



車いすでトイレに行く方の介助



3-2 排せつ介護の負担感について

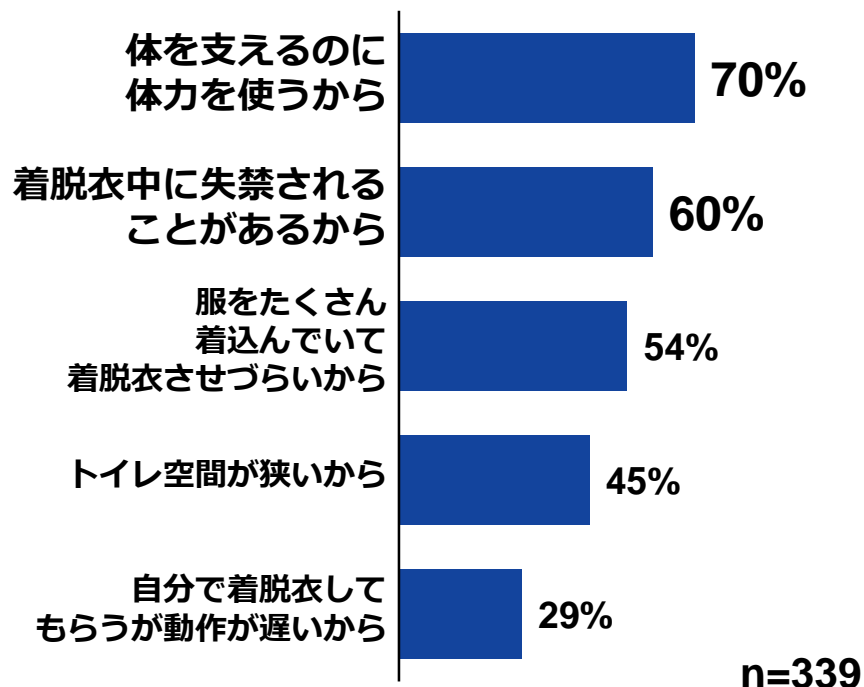
歩行者、車いす使用者の介助とともに着脱衣の際に
体を支える、抱えるので体力を使うことに負担を感じている

Q5で「②衣服の着脱介助」に負担を感じていると回答した人

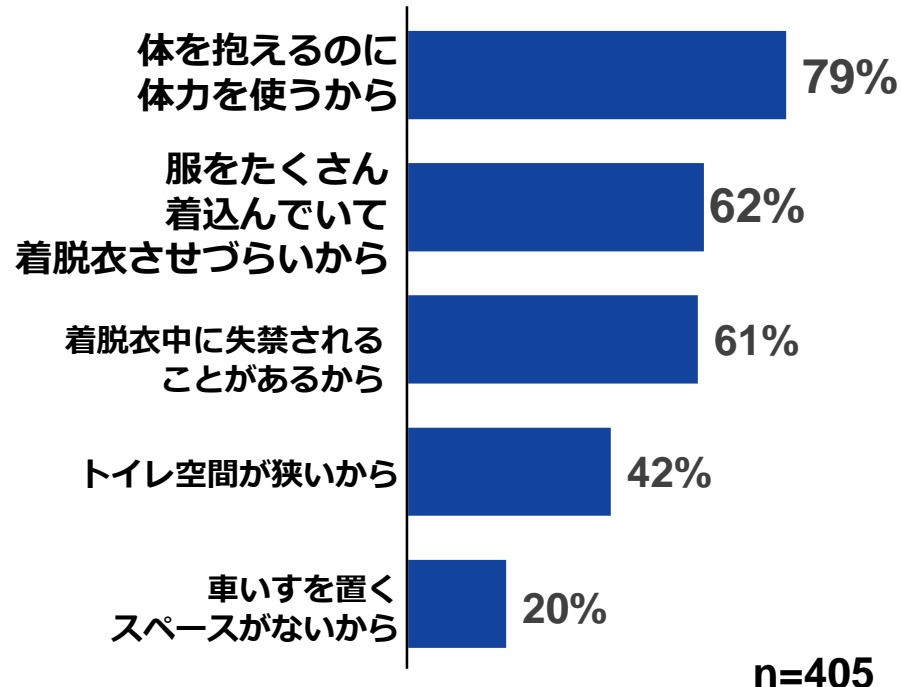
(複数回答・上位5位を抽出)

Q7 | どのようなことで負担を感じますか。

歩行でトイレに行く方の介助



車いすでトイレに行く方の介助



3-2 排せつ介護の負担感について

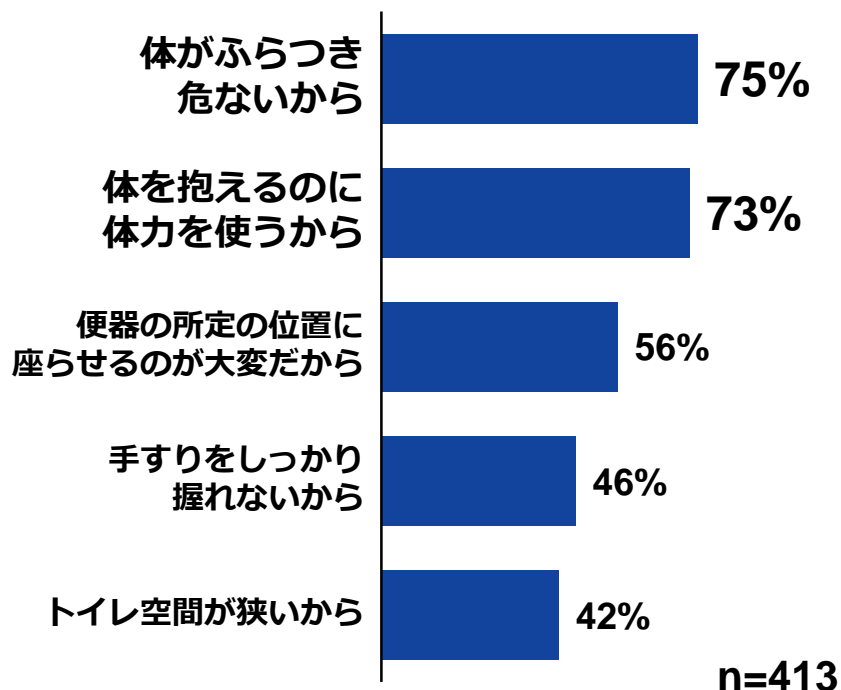
歩行者の介助では体のふらつきが危ないことに負担を感じている
車いす使用者の介助では体を抱えることに負担を感じている

Q5で「③便器への移乗介助」に負担を感じていると回答した人

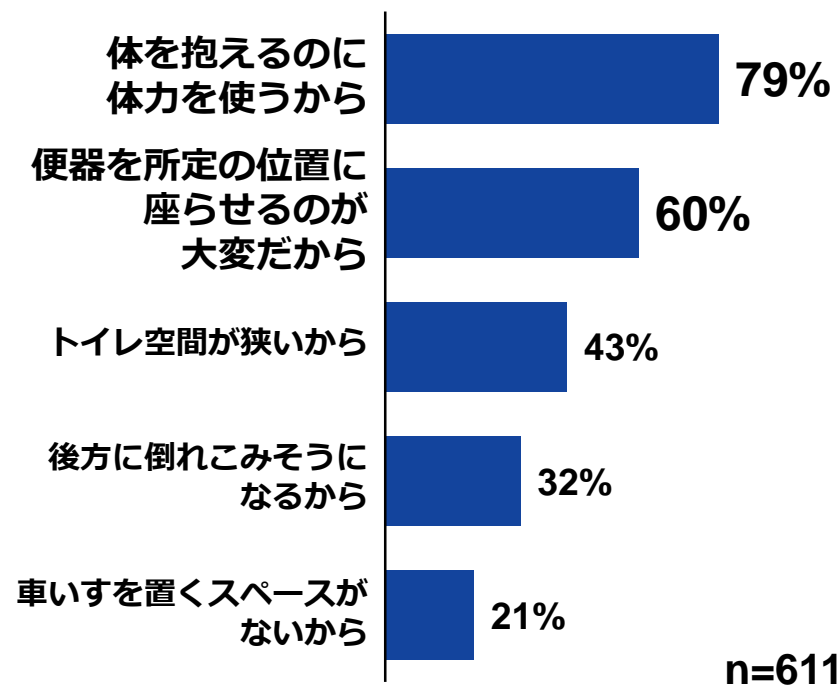
(複数回答・上位5位を抽出)

Q8 | どのようなことで負担を感じますか。

歩行でトイレに行く方の介助



車いすでトイレに行く方の介助



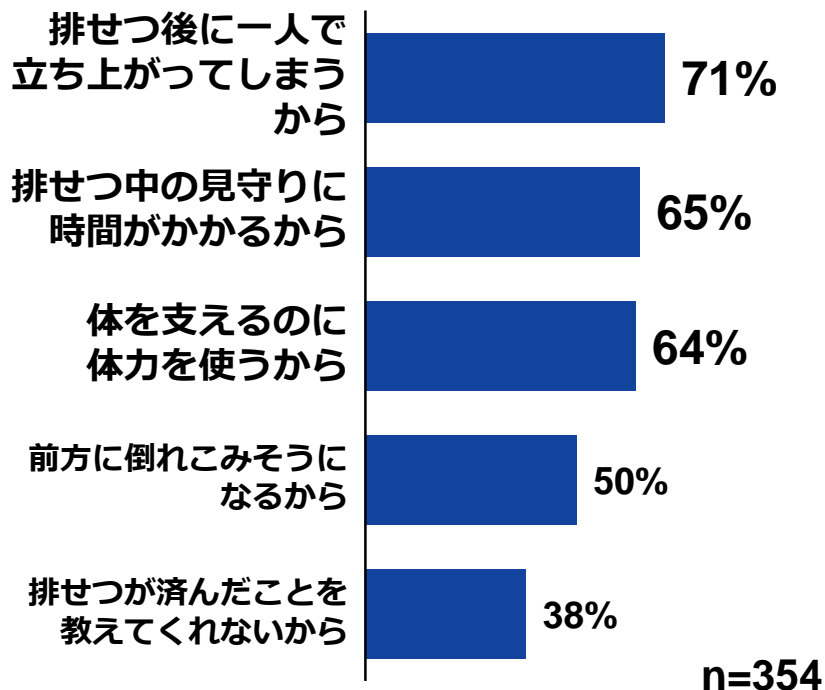
3-2 排せつ介護の負担感について

便器での座位保持の際、一人での立ち上がりや前方への倒れ込みなどの転倒リスクがあり、見守りや体を支えることに負担を感じている

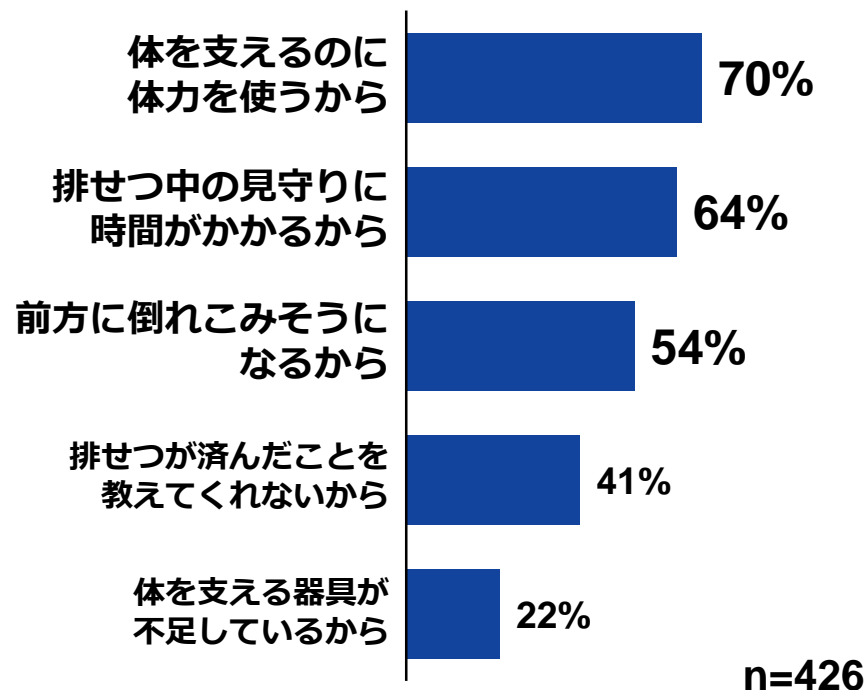
Q5で「④便器での座位保持・見守り介助」に負担を感じていると回答した人（複数回答・上位5位を抽出）

Q9 | どのようなことで負担を感じますか。

歩行でトイレに行く方の介助



車いすでトイレに行く方の介助



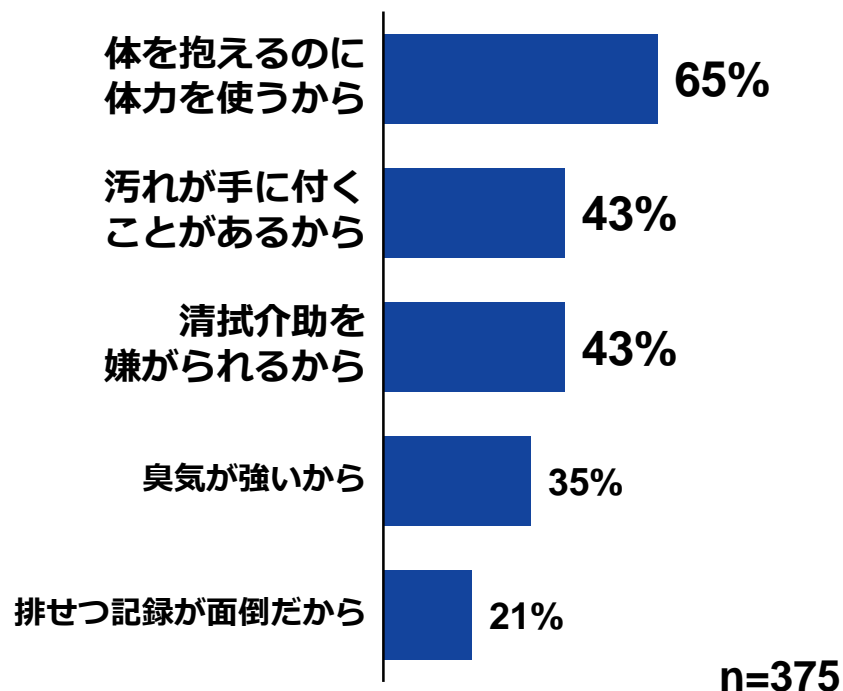
3-2 排せつ介護の負担感について

歩行者、車いす使用者の介助とともに清拭介助の際に
体を抱えるのに体力を使うことに負担を感じている

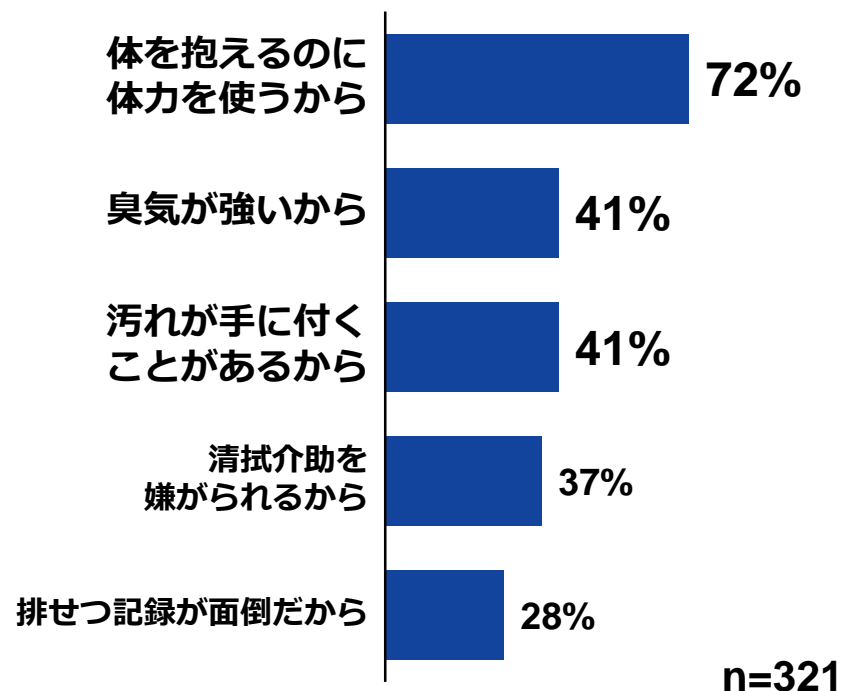
Q5で「⑤清拭介助、排せつ物確認・記録」に負担を感じていると回答した人（複数回答・上位5位を抽出）

Q10 | どのようなことで負担を感じますか。

歩行でトイレに行く方の介助



車いすでトイレに行く方の介助



介護の負担について

- 毎日何度も行う介助で体力を使う「排せつ介助」に負担を感じているスタッフが多くいます。

「トイレまでの往復の移動介助」で負担を感じていること

- 歩行でトイレに行く方の移動介助では「歩行中の支え」の負担が大きく、車いす使用者の移動介助では「ベッド⇄車いすへの移乗」に負担を感じているスタッフが多いことがわかりました。特に夜間にはスタッフの人数も限られますので、負担も大きくなると思われます。

「便器への移乗介助」で負担を感じていること

- 便器移乗の際に体を抱えるので体力を使うことに負担を感じているスタッフが多くいます。また、歩行でトイレに行く方の介助では、体のふらつきによる転倒リスクへの負担を感じています。

**「排せつ介助」は介護業務の中でも負担が大きいと感じる業務です。
スタッフの負担を軽減し、入居者にとっても安全で気持ちのよい
排せつができる水まわり設備が望まれます。**



ベッドサイド
水洗トイレ



前方ボード
(スイングタイプ)

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO